

晴れわたる北の空

2007 年 6 月 全日本大会
北海道留寿都村・真狩村

木村佳司



楽しんだ？ 北海道！
競技がうまくいった人もそ
うでなかった人も、晴れわた
った北の空に大満足！

全日本大会の楽しみ

本州では梅雨入りの季節だが北海道は梅雨知らず。きれいに晴れた羊蹄山の裾野で全日本大会が実施された。

全国各地で開催される全日本大会に参加することは、それだけで旅行も楽しめる。今回の全日本大会会場も北海道旅行を楽しむシルバー層が多数参加した。そんな参加者にとって何よりのプレゼントがこの晴天だ。

蝦夷富士 羊蹄山」を走る

全日本大会は、日本屈指のスキーリゾートであるルスツを会場に行われた。

実際に競技を行うトレインはルスツより 10km ほど離れた羊蹄山自然公園、その間を繋ぐ輸送は大型バスが使用された。羊蹄山へ延びる一直線の道路。滑走路から空に飛び上がるかのような錯覚はさすが北海道。

北海道を代表する高級リゾート「ルスツ」の会場設備と羊蹄山のトレインの組み合わせは上手く機能し、ちょっと高級な大会といった印象。参加者にシルバー層が多かったこともあり、今回のレイアウトは好評だったようだ。



フィニッシュのあとは、羊蹄山の湧水をたっぷり飲んでバスを待つ。走り終わった体にしみわたる。



シニアランナーの参加が目立った全日本大会。みなさん楽しく真剣な表情で走っていたのが印象的。
写真は小林一登（豊中 OLC）

北海道に 420 名

今回の全日本大会の参加者はおよそ 420 名。これを多いと見るか少ないと見るか？

例年 3 月下旬に開催される全日本大会。年度末までに行われるということと主催側の予定は立て易い。また 3 月下旬は大学生の春休み期間にあたるため、学生は参加し易い。

しかし社会人からしてみると、3 月下旬は会計年度末ということで非常に忙しい人が多い。3 月下旬の全日本大会は参加できないが 6 月の全日本大会なら参加できるという人も多いのではないかと推察される。

予想通り、今回の全日本大会に学生の姿は少なかった。しかし社会人層、シニア層は予想を超える参加者数だったと感じている。



若者もシニアも北海道の森を爆走！
ツタウルシもなんのその！

開催そのものが挑戦

そもそも北海道で全日本大会が開催できるのか？ 参加者は集まってくれるのか？ 競技人口が少ない北海道でどうやって運営してゆくのか？ 今回の全日本大会開催にあたって課題満載だった。全日本大会を開催すること自体が挑戦だった。

終わってみれば一部クラスで不成立が出てしまったが、それを除けば概ね成功だったように見える。参加者の満足度も高いようだ。

日本各地で開催される全日本大会。開催方法は各地によってさまざまだ。これが正解といった運営手法はない。その地域にあった方法で開催されればよいだろう。日本各地のトレイン事情、社会事情に適合して開催方法自体をナビゲーションすることもオリエンテーリングの全日本大会ならではの。



宿泊したルスツリゾートのコテージ
周囲が芝生で囲まれている。飛行機で参加していることといい、まるでヨーロッパの大会に参加している雰囲気。

ハードなモデルイベント？

今回の全日本大会では公式なモデルイベントは開催されなかったが、大会前日に会場となるルスツリゾートで簡単なオリエンテーリングイベントが行われた。

実はルスツリゾートのアウトドアメニューとして、バーベキューオリエンテーリングが行われているらしい。修学旅行にやってくる中学生たちを対象に行っているようだ。



細川たかしの銅像と羊蹄山。
トレインのある北海道真狩村は細川たかしの故郷。台座に手を当てると、「北酒場」「矢切の渡し」などの曲が流れる。銅像の横を選手輸送バスが通っていた。

11:00 にホテル横のスキー場からスタート。リゾートホテル周辺を軽く回るだけのコース設定だろうと甘く考えて参加した。ところが渡された地図は1:10,000のISOM準拠の0-map。スキー場山頂までしっかりコントロールが置かれている。これは本格的だ。

中学生は制限時間90分で満点は出ないそうだ。それを今日はオリエンティア向けということで制限時間は60分。うぬー挑戦的だ。

明日は全日本大会ということも忘れて走った、走った。登った、登った。イッキ 250m 登りでスキー場の山頂へ。やった一満点ゲットだぜ。抜けるような晴天に羊蹄山がでっかく見えた。

コントロールを全部見つけてリゾート遊園地のバーベキューハウスに設定されたフィニッシュに飛び込む。

一息ついた頃に運ばれてきたのは、スコア 0 の点数によって獲得したバーベキューの食材たち。ホタテ焼き、焼きガニ、カットメロン。とっても美味しい！



準備する運営者。
ちょっとした間違い探しも面白かった。さて、ナニが間違っているのでしょうか？



メモ리카ードの記憶

私・木村も今回の全日本大会に合わせて休暇をとり、夏の北海道を満喫。ひとり気ままにレンタカーを走らせる。カメラのメモリに残っていたデータからいくつかをご紹介します。



札幌からルスツに向かう中山峠名物のアゲイモ。ひと串食べてカーボローディング。



「きのこ王国」名物のきのこ汁。きのこご飯、きのこ天ぷら盛り放題。



2000年に噴火した有珠山西口火口。国道の真下から噴火して国道が通行止めに。今も激しく噴煙を上げている。大迫力。



2000年噴火による災害の跡がそのまま保存されている。噴火ってコワイなあ。



溶岩ドームから今も噴煙が上がる昭和新山。有珠山から見る洞爺湖と昭和新山はグー。



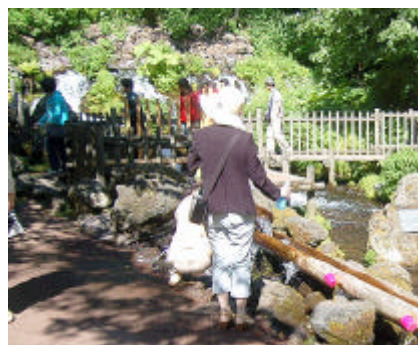
昭和新山の成長を記録した三松正夫氏の銅像と昭和新山。地図調査スピリットだ！



北海道ドライブでみかけた道路標識。牛の絵が妙にリアルでおもしろい。



デートの待ち合わせ場所。



「ふきだし公園」
どんなオモロイところかと思うて行ってみたい。綺麗な水があるだけやん。

サップロの記憶

宮の森シャンツェまでの往復ランニングもよかった。札幌駅前から札幌時計台、大通公園、札幌の有名ところを経由する観光ルートだ。

35年前、やっとカラー化されたブラウン管の向こう側で行われていた札幌オリンピック。表彰台を日本勢が独占した舞台。日本中がTVに釘付けになった日だった。宮の森に立つと幼少だった頃の自分の気持ちに会えたような気がした。

いつの日か、オリンピック会場のオリエンテERING競技表彰台に日の丸を掲げる日はやってくるのだろうか。

(木村佳司)